



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年10月26日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 マイスターエンジニアリング
コード番号 4695 URL <http://www.mvstar.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 菊地 幸雄

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長

(氏名) 田谷 徳人

TEL 03-5487-8211

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日

平成22年12月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	6,623	△1.8	213	352.9	243	4.7	45	△52.1
22年3月期第2四半期	6,742	△15.9	47	△79.9	232	△11.8	95	6.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	5.02	—
22年3月期第2四半期	10.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
23年3月期第2四半期	8,714		6,405	72.6			693.55	
22年3月期	8,745		6,474	73.2			702.32	

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 6,324百万円 22年3月期 6,404百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
23年3月期	—	5.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	10.00	15.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,000	4.0	450	145.2	500	2.7	250	154.8	27.42

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無
新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）、
（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有
（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 無
（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）
① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期2Q 9,125,000株 22年3月期 9,125,000株
② 期末自己株式数 23年3月期2Q 6,199株 22年3月期 6,199株
③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期2Q 9,118,801株 22年3月期2Q 9,118,801株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）P.2「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善傾向や政府による緊急経済対策の効果などから景気回復の兆しが見られましたが、急速な円高、デフレ進行、雇用情勢の悪化など、先行き不透明感の拭えない状況が続いております。

このような状況の下、当社グループを取り巻く事業環境は、引き続き厳しい状況にありますが、新しいビジネスモデルであるメカトロ関連事業における、装置の設計から製造、据付、メンテナンスまでの「ワンストップエンジニアリングサービス」、ファシリティ関連事業における、建物のプロパティマネジメントからビルメンテナンスまでの「ワンストップサービス」の提供に注力し、新規参入した太陽光発電・環境関連事業の確立・発展に注力いたしました。また、業務の効率化とコスト管理の徹底を図り、収益構造の改善を推進いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は 6,623百万円（前年同期比1.8%減）、営業利益は213百万円（前年同期比352.9%増）、経常利益は243百万円（前年同期比4.7%増）、四半期純利益は 45百万円（前年同期比52.1%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 財政状態

当第2四半期連結会計期間末の総資産合計は8,714百万円となり、前連結会計年度末に比べ 30百万円減少いたしました。流動資産は5,048百万円となり、前連結会計年度末に比べ193百万円減少いたしました。主な要因は、現金及び預金の 215百万円の減少、受取手形及び売掛金の34百万円の減少及び未成工事支出金の71百万円の増加等であります。固定資産は 3,666百万円となり、前連結会計年度に比べ 163百万円増加いたしました。主な要因は、投資有価証券の60百万円の減少、破産更生債権等の206百万円の減少、長期性預金の300百万円の増加及び貸倒引当金の107百万円の減少等であります。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は2,309百万円となり、前連結会計年度末に比べ 38百万円増加いたしました。主な要因は、未払法人税等の23百万円の減少、賞与引当金の21百万円の増加及び資産除去債務の38百万円の増加等であります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は6,405百万円となり、前連結会計年度末に比べ 68百万円減少いたしました。主な要因は、利益剰余金の45百万円の減少及びその他有価証券評価差額金の34百万円の減少等であります。

② キャッシュ・フロー

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べて431百万円減少し、2,503百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は 246百万円（前年同期比25.6%減）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益132百万円、減価償却費65百万円、貸倒引当金の減少額107百万円、売上債権の減少額34百万円、たな卸資産の増加額78百万円及び法人税等の支払額99百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は563百万円（前年同期は22百万円の獲得）となりました。これは主に定期預金の預入による支出700百万円、定期預金の払戻による収入184百万円、関係会社株式の取得による支出15百万円及び有形固定資産の取得による支出30百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は114百万円（前年同期比3.9%減）となりました。これはリース債務の返済による支出22百万円及び配当金の支払額91百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

景気動向が業績に与える影響については、現在調査中であり、現時点では通期の連結業績予想につきましては、平成22年5月12日に公表いたしました業績予想を修正せずに据え置いております。なお、業績予想を見直す必要が生じた場合には、速やかに開示する予定であります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(簡便な会計処理)

① 固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却及び除却等の見積りを考慮した予算を策定しているため、当該予算に基づく年間償却予定額を期間按分して算定しております。

② 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(特有の会計処理)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。これにより、営業利益、経常利益はそれぞれ1,870千円減少しており、税金等調整前四半期純利益は16,480千円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,953,144	3,168,409
受取手形及び売掛金	1,672,337	1,707,103
未成工事支出金	123,346	51,684
仕掛品	19,585	15,809
原材料及び貯蔵品	19,758	16,395
その他	290,936	314,067
貸倒引当金	△31,079	△31,864
流動資産合計	5,048,029	5,241,605
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,049,370	1,029,790
土地	1,087,070	1,087,070
その他(純額)	119,606	100,766
有形固定資産合計	2,256,047	2,217,627
無形固定資産		
のれん	80,075	101,914
その他	62,124	78,628
無形固定資産合計	142,200	180,542
投資その他の資産		
投資有価証券	319,674	380,666
差入保証金	164,359	164,496
破産更生債権等	100,736	307,576
その他	784,604	460,453
貸倒引当金	△100,763	△207,807
投資その他の資産合計	1,268,612	1,105,384
固定資産合計	3,666,860	3,503,554
資産合計	8,714,889	8,745,160

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	500,556	514,648
短期借入金	42,000	42,000
未払法人税等	81,115	104,652
賞与引当金	293,862	271,962
その他	518,013	506,157
流動負債合計	1,435,548	1,439,420
固定負債		
退職給付引当金	604,448	602,934
役員退職慰労引当金	60,030	59,307
資産除去債務	38,714	—
長期預り保証金	112,142	114,650
その他	58,393	54,844
固定負債合計	873,728	831,736
負債合計	2,309,276	2,271,156
純資産の部		
株主資本		
資本金	981,662	981,662
資本剰余金	956,962	956,962
利益剰余金	4,364,267	4,409,686
自己株式	△3,099	△3,099
株主資本合計	6,299,792	6,345,211
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	24,536	59,065
評価・換算差額等合計	24,536	59,065
少数株主持分	81,283	69,726
純資産合計	6,405,612	6,474,003
負債純資産合計	8,714,889	8,745,160

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	6,742,948	6,623,631
売上原価	5,728,502	5,520,346
売上総利益	1,014,446	1,103,284
販売費及び一般管理費	967,279	889,688
営業利益	47,167	213,595
営業外収益		
受取利息	1,360	1,229
受取配当金	1,746	2,064
助成金収入	159,803	35,430
匿名組合投資利益	6,648	1,352
その他	27,491	14,953
営業外収益合計	197,051	55,031
営業外費用		
支払利息	2,204	2,579
支払補償費	62	—
匿名組合投資損失	8,718	5,362
持分法による投資損失	—	15,000
その他	533	2,064
営業外費用合計	11,518	25,007
経常利益	232,699	243,619
特別利益		
固定資産売却益	659	—
特別利益合計	659	—
特別損失		
固定資産除却損	594	—
減損損失	13,513	4,956
投資有価証券評価損	—	2,008
事務所移転費用	26,250	—
貸倒損失	—	90,000
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	14,610
特別損失合計	40,359	111,574
税金等調整前四半期純利益	192,999	132,045
法人税等	105,245	74,719
少数株主損益調整前四半期純利益	—	57,325
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△7,743	11,556
四半期純利益	95,497	45,769

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	192,999	132,045
のれん償却額	21,838	21,838
持分法による投資損益 (△は益)	—	15,000
減価償却費	67,214	65,713
減損損失	13,513	4,956
移転費用	26,250	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	14,610
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	—	△107,829
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△70,004	21,900
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	7,632	1,513
その他の引当金の増減額 (△は減少)	21,374	723
受取利息及び受取配当金	△3,107	△3,294
支払利息	2,204	2,579
投資有価証券評価損	—	2,008
売上債権の増減額 (△は増加)	237,922	34,766
たな卸資産の増減額 (△は増加)	2,483	△78,800
仕入債務の増減額 (△は減少)	△34,049	△14,091
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△32,013	△823
預り保証金の増減額 (△は減少)	△4,870	△2,508
その他の資産の増減額 (△は増加)	△81,750	236,602
その他の負債の増減額 (△は減少)	5,955	△5,896
その他	△5,944	△4,897
小計	367,649	336,115
利息及び配当金の受取額	3,107	3,294
利息の支払額	△2,204	△2,579
法人税等の還付額	55,483	9,090
法人税等の支払額	△92,170	△99,120
営業活動によるキャッシュ・フロー	331,865	246,800
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△80,031	△700,208
定期預金の払戻による収入	90,157	184,465
関係会社株式の取得による支出	—	△15,000
有形固定資産の取得による支出	△7,367	△30,450
投資有価証券の取得による支出	△4,957	—
差入保証金の差入による支出	△38,969	△22,752
差入保証金の回収による収入	61,562	35,172
その他	1,676	△14,917
投資活動によるキャッシュ・フロー	22,070	△563,689
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△27,501	△22,929
配当金の支払額	△91,188	△91,188
財務活動によるキャッシュ・フロー	△118,689	△114,117
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	235,246	△431,006
現金及び現金同等物の期首残高	2,556,219	2,934,151
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,791,465	2,503,144

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。